

# せきね 知っ得！通信

# 6

June

2017

社会保険労務士法人せきね事務所 せきね FP 事務所  
〒947-0028 小千谷市城内 2-4-26 TEL0258-83-3048 FAX0258-83-3049  
メール sekinekyrs@mountain.ocn.ne.jp ホームページ http://www.office-sekine.com

第81号 発行：2017年6月

NHKの「奇跡のレッスン」野球編の再放送を見ました。

“最強コーチ”として招かれ、野球少年たちに特別レッスンを行った元・千葉ロッテマリーンズ監督のボビー・バレンタイン氏の言葉をまとめました。



## 経験は教えることができない

技術的なことや戦術的なことは教えることができるが、「経験」はそうはいかない。大切な場面で緊張する経験、仲間のエラーをカバーした嬉しい経験、挑戦が成功して自信につながる経験、涙が出るほどの悔しい失敗の経験…それらは、「その子」が経験するしか方法がない。



外からの情報ではなく、経験に基づき内から湧き出る気持ちがその子を成長させるのだ。

## いいチームとは

いいチームメイトとは仲間のミスを補ってくれる人のこと。特に野球は沢山のミスが起きてしまうスポーツ。完璧な人間なんていないから誰でもミスをしてしまう。本当に強いチームとはミスを立て直して行けるチームなのである。

野球は9人だけで戦うのではない。また、全員がエースである必要もない。どの選手にも必ず大事な役割があり、それを果たすことでチームは成功を収める。

## 褒めるべき失敗もある

失敗をすることは成長するうえで欠かせないこと。

準備を怠けたり、自分がおかれた状況を理解していなかったり、意欲が足りないなど、そういう怠慢から起こった失敗は絶対に認めてはいけない。一方、むしろ褒めるべき失敗もある。ベストを尽くして挑戦した失敗は、優れた努力として認めてあげてほしい。

## ボビー氏が保護者に伝えた言葉

「若い選手が野球をする時、常につきまとう恐怖が2つあります。1つは怪我をすること。もう1つは失敗すること。

なぜ失敗を恐れるかという、それは、皆さんを喜ばせたいからです。『お父さんやお母さんを悲しませたらどうしよう』という不安が恐怖心を生むのです。

その恐怖心は皆さんが取り除いてあげなければいけません。常に、彼らのいいところを見つけてあげるべきです。スポーツマンシップやいいプレーをしようとする努力、チームメイトと団結するところを見てあげてください。

そうすることで子供たちは恐怖心から開放され、全力でプレーできると思います。」

練習中も試合中も、ボビー氏は、こぼれるような笑顔で子どもたちに接していました。世の中には、結果にこだわるあまり、怒ったり責めたりする指導者や保護者が多いように感じます。これは、野球などのスポーツに限りません。感動すると同時に、非常に考えさせられました。

参考になれば幸いです！

中小企業庁は、本年4月に、「2017年版中小企業白書・小規模企業白書」を公表しました。いずれにおいても、中小企業・小規模事業者の雇用環境と人手不足の現状についての分析などが行われています。



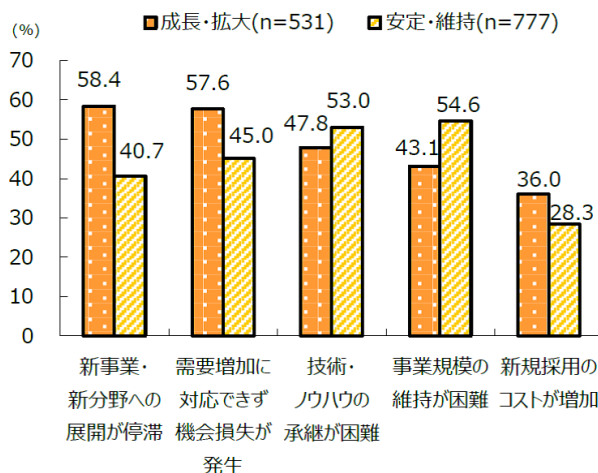
### ◆人材不足への対応/多様な人材、外部リソース活用への取組

●成長・拡大志向企業は中核・労働人材ともに不足感が強く、中核人材の不足は、成長・拡大を目指す企業の新事業展開に影響（右図参照）。

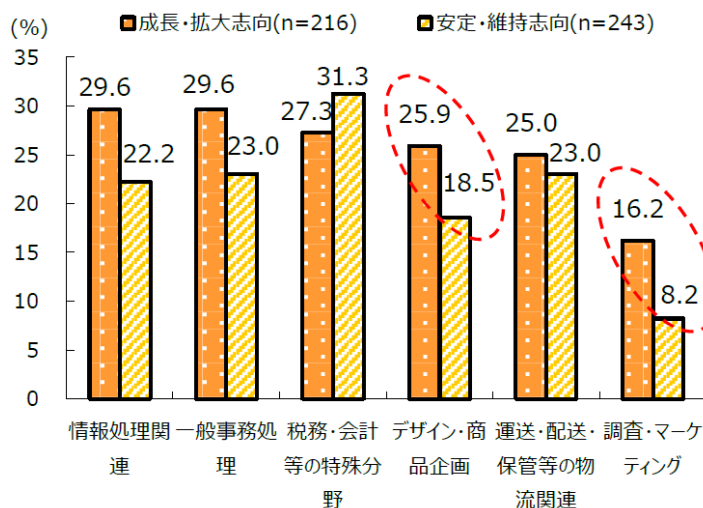
●女性、シニア等多様な人材を活用できている中小企業は、生産性向上にもつなげる業務の合理化・標準化に取り組んでおり、収益力を向上。

●機械化・IT化や付加価値向上で人材不足を克服する企業も存在。成長・拡大を目指す企業では、マーケティング、デザインなど高度な人材が求められる業務でも、アウトソーシングのニーズが増大。（下図参照）

### 事業展開の方針別に見た、中核人材の不足による経営への影響



### 事業の方針別に見た、外部委託の必要性が増加した業務



なお、同月に公表された「財務局調査による『賃金の動向』について」においても、複数回答で賃金引上げを行う理由を調査対象企業に聞いたところ、「人材の確保」のためと答えた企業の増加が目立ち、前年度の31.6%から38.2%に増加しているとのことです。

この調査結果を受けて、財務省も、「賃金を上げないと人が集まらないという人手不足の傾向が強まっていることが鮮明になった」という見解を示しています。



“労働条件・環境を見直して人手を確保する”、そのような経営方針が、大企業のみならず、中小企業・小規模企業にも必要となってきたといえそうです。

## NEWS HEADLINE

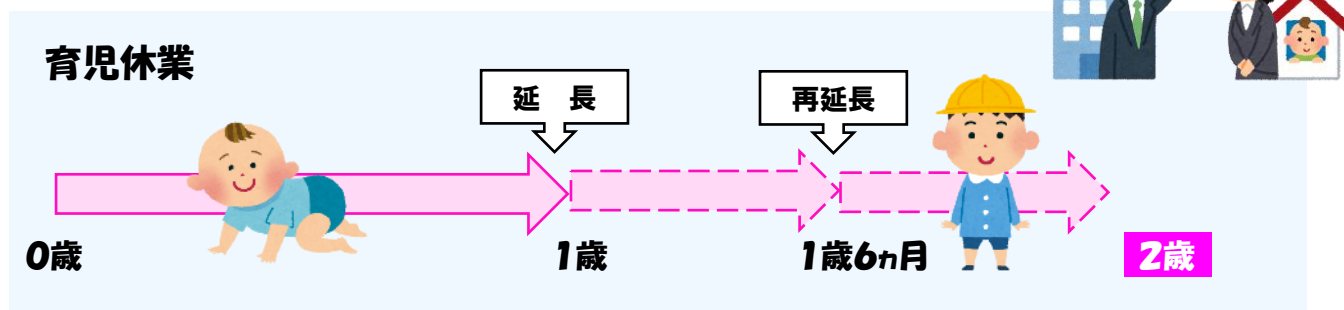
### ■ 年金の受給資格が10年になります

これまで、25年以上必要だった年金の受給資格が、8月1日からは、10年以上あれば老齢年金を受け取ることができるようになります。  
対象者には黄色い封筒が届きます。



### ■ 保育園に入れない場合、2歳まで育児休業が取れるようになります！

現行1歳6ヵ月まで延長できる育児休業が、10月1日から、保育園などに入れない場合最長2年まで再延長できるようになります。  
育児休業給付金の給付期間も2歳までとなります。



### ■ ヤマト運輸が値上げ

10月1日からヤマト運輸の宅配便の基本運賃が、27年ぶりに140～180円値上げされます。



### 研修医過労自殺 労災認定

新潟市民病院の女性研修医が過労自殺した件で、新潟労働基準監督署は労災と認定。自殺する約4カ月前にうつ病を発症し、その直前1カ月の残業時間が160時間を超えていたと認定しました。



当時在籍していた研修医27人の残業自己申告は、1ヵ月で200時間を超えたのが1人、150時間超は3人、100時間超は9人、80時間超は7人、80時間以内は7人でした。



厚労省が過労死リスクが高まると位置づける「**過労死ライン**」は**月80時間**。過労死の認定は基本的に、死亡に起因する精神疾患発症などを発症する1カ月前に100時間か、2～6カ月前の平均で80時間を超える残業があれば認定されます。

## 「気になる！」を勝手に情報発信コーナー

### 書籍 顔ニモマケズ 水野 敬也

「見た目が9割」と言われる時代に、見た目に傷やアザなどの症状を持つ「見た目問題」当事者はどんな生活や考え方をしているのでしょうか？  
この本は、彼ら・彼女らがその外見を原因とする仕事や恋愛の問題を乗り越えたプロセスを知ることができます。それは、外見に悩む人だけではなく人生の様々な悩みに効く内容になっています。

単純性血管腫という病気で、顔に大きな赤いアザのある三橋雅史さん。  
(三橋さんは営業の仕事をしています)

「顔の症状があることで『すべての言い訳』に出来る。人生に起こる苦しいことや辛いことを全部顔のせいにしてしまう。でも、「変えられないこと」のせいにしたら、それこそ人生は変わらない。自分の手で変えられることを、出来るだけ変えていきたいと思うのです」



トリーチャーコリンズ症候群の石田祐貴さん。(石田さんは大学院生)  
「よく世の中では『見た目ではなく中身が大事』と言われますが、『そんなことあるわけない』と思っていました。でも、『あなたの内面が好き』という彼女が出来て、そういう人もいることがわかりました。」  
「この病気を知らない人は、僕が日本人かどうかもわからないらしい。だから友達を作るには自分から話しかけなくてはならないのです。」

この本、気の毒がって読む必要はありません。皆さん、明るくてユーモアたっぷり。笑いつつ、涙しつつ、前向きな気持ちにさせてくれます。



### 書籍 闇の守り人 上橋 菜穂子

守り人シリーズの第2弾。「精霊の守り人」が良くてハマリますが、前作を凌ぐ壮大でドラマチックなストーリーです。

女用心棒のバルサは、自分の過去と向き合うために25年ぶりに生まれ故郷のカンバル王国に戻ってきた。自分のために父が殺され、養父シグロは汚名を背負ったが、真実はもっと闇が深く複雑だった。文句なしの面白さ！おススメです。



### 今月のさぶろく

(せきね事務所の看板ねこ：生後9ヵ月)

なんと、さぶろくに来客がありました。

ぼぼ同じ頃生まれた「宙丸くん」。さぶろくよりふっくらそらまるしていて、真っ白な毛が綺麗な可愛い猫ちゃんです。

知らない場所に連れてこられたアウェイの宙丸くんは緊張気味で飼い主さんの陰に隠れていました。

さぶろくは興味津々でしたが、猫は縄張り意識の強い動物です。一定の距離を取って宙丸くんを見ていました。

帰り際、写真撮影に挑戦！抱かれ慣れていないさぶろくが正面を向いていませんが、ツーショット写真が撮れて嬉しかったです。

